

結果報告 11月Web教えてモニター「トレー付きレトルトご飯類」

【テーマ・商品】

トレー付きレトルトご飯類

【モニター目的】

トレー付きレトルトご飯類の利用実態を調べ、情報を今後の商品企画・品揃えや開発に活かしていく。

【回答期間】 11/28～12/7

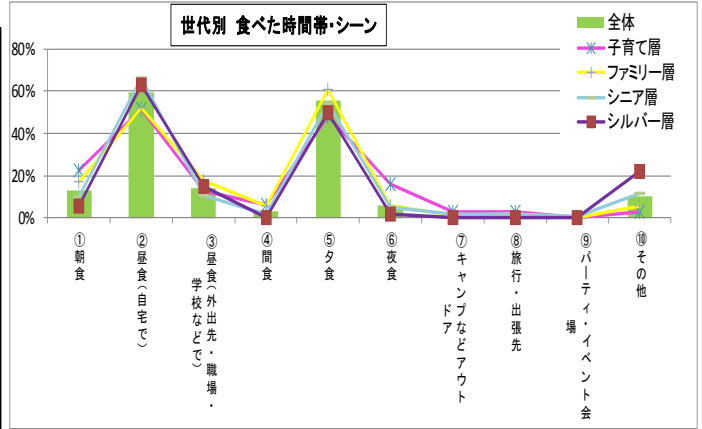
【回答者数】 387名

■総評

(1)トレー付きレトルトご飯類を利用する方の購入理由は①すぐに食べられる(77.6%)②防災用(33.1%)③おいしい(29.3%)④留守番の家族用(25.3%)などが上位でした。若い世代は「小腹が空いたとき用」、年配世代は「小人数分を作るより経済的」も目立ちます。食べるシーンは「昼食(自宅)」と「夕食」が圧倒的で、半数近い方が月1～3回の頻度です。頻度はシルバー層と子育て層で高く、ファミリー層が最低です。コメント欄からは、ご飯が足りないときの「ちょい足し、用に使う方も多ようです。ただ、「月1回も使わない」方も全体の4割近くおり、ご飯が足りないときに活用する「日常使い派」と、普段はめったに食べない「備蓄派」に使い方がくっきりと分かれるようです。

(2)購入時に重視する点は、「価格」、「味」、「国産原料であること」の3点が際立っています。若い世代は「価格」に、年配の世代は「国産原料であること」により重きを置いています。1個の量目を重視する方は多いですが、セット数はさほど重視されていません。人気商品は「おいしい赤飯」(48.4%)、「サウのごはんシリーズ」(10.9%)、「越後のごはん」(6.5%)、「おいしいご飯(山形県産はえぬき使用)」(6.2%)、「やわらかご飯小盛りタイプ(富山県産こしひかり使用)」(3.8%)、「ふんわりごはん北海道ゆめぴりか」(3.8%)等です。

(3)購入先は生協の宅配、スーパーが中心ですが、それ以外では、ディスカウント店、ドラッグストア、コンビニチェーン店が目立ちます。特にシニア層の1割がディスカウント店で、ファミリー層の7.5%がドラッグストアでも商品を購入しており、この分野の価格競争の厳しさを感じさせます。



■組合員の声

- ・量目のバリエーションを増やして欲しい。
- ・赤飯、炊き込み等日頃作らないものは買って置く。栗飯、豆飯、牡蠣飯あれば買います。
- ・鳥とごぼうのおこわを1回、購入し食べました。とてもおいしく頂きました。おこわの種類が増えたらうれしいです。
- ・御飯が少し足りないとき以前は冷凍しておいたご飯を使っていたが冷凍室で場所をとるのでレトルトご飯にしました。常温で長期保存が出来るのが良いです。
- ・我が家の場合は食べ盛りの男子のせいで炊いたご飯が足りなくなった時用です。
- ・指先に力が入りにくいので、保存上問題がない限り、もう少し蓋が開けやすいと助かります。
- ・少量タイプのもの企画があまりないので、企画を増やして欲しい。
- ・災害時にはトレーが食器にもなりストックがあると安心です。また白いご飯は急な来客時にも重宝です。